

## 7 - 1 九州地方 G.D.P. 高精度トラバース測量結果

### G. D. P. Traverse Survey of High Precision in Kyusyu District

国土地理院測地部  
Geodetic Division, Geographical  
Survey Institute

国際地球ダイナミックス計画 (G.D.P.) の一環として行なわれている G.D.P. 高精度トラバース測量については、すでに北海道東部・関東北陸・東北地方の結果が報告されている<sup>1), 2)</sup>。今回は引き続き行なわれた九州地方の結果について報告する。実施期間は昭和 49 年 4 月から 6 月で、使用器械はジオジメータ 8 型 (G - 8), ウイルド T3 である。

測量結果ならびに旧成果との比較は第 1 表と第 1 図に示されている。1891 ~ 93 年と 1955 ~ 58 年の値は三角測量結果で、距離の精度は  $5 \times 10^{-6}$  程度と見積られる<sup>3)</sup>。従って、この距離変化から地殻変動を議論するのは困難であろう。また、久住山と釈迦岳に 4" 余りの大きな角変化があるが、釈迦岳については 1955 ~ 58 年の測定が良くなかったものと思われる。久住山における 1891 ~ 93 年から 1955 年 ~ 58 年の間の 4"1 の角変化は南海道地震の影響か誤差によるものか不明である。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部, 北海道東部および関東北陸地方の G.D.P. 高精度トラバース測量, 地震予知連絡会会報, 9, 127 - 131, 1973。
- 2) 国土地理院測地部, 東北地方 G.D.P. 高精度トラバース測量結果, 地震予知連絡会会報, 11, 60 ~ 61, 1974。
- 3) T.HARADA, Precise Readjustment of Old and New First Order Triangulations, and the Result in Relation with Destructive Earthquakes in Japan, Bull. Geogr. Sur. Inst., Vol. XII Part3 ~ 4, 5 ~ 64, 1967。

表1 九州地方 G.D.P. 高精度トラバース測量結果

Table 1 Results of G.D.P. traverse survey in Kyusyu District.

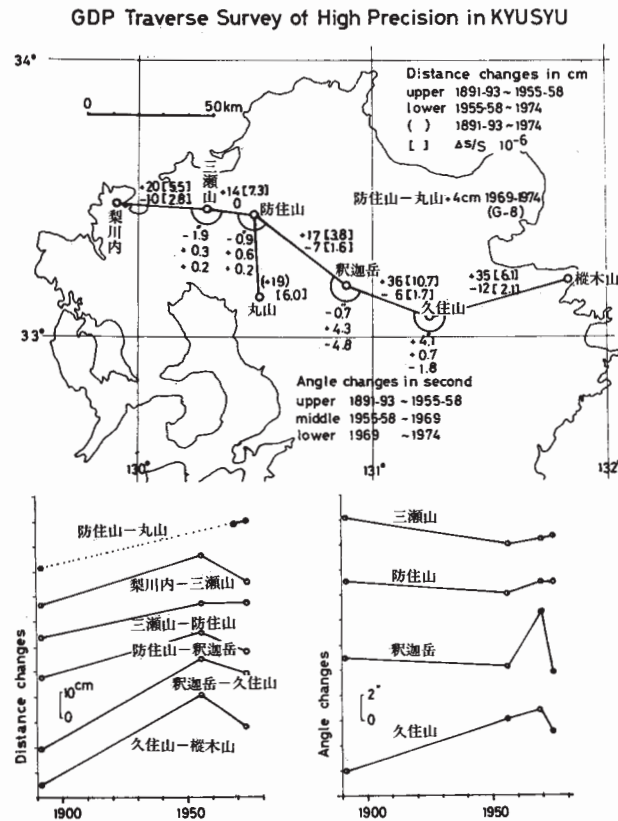
区 間	I 1891~93	II 1955~58	III 1974	II - I	III - II
縦木山 — 久住山	57040.189 <sup>m</sup>	57040.538 <sup>m</sup>	57040.414 <sup>m</sup>	+34.9 <sup>cm</sup>	-12.4 <sup>cm</sup>
久住山 — 釈迦岳	34854.964	34855.326	34855.262	+36.2	- 6.4
釈迦岳 — 防住山	45221.507	45221.680	45221.605	+17.3	- 7.5
防住山 — 三瀬山	19135.173	19135.310	19135.308	+13.7	- 0.2
三瀬山 — 梨川内	36086.049	36086.249	36086.146	+20.0	-10.3
防住山 — 丸 山	31887.454	* 31887.607	31887.642	+15.3	+ 3.5

(注) I : 実用成果

II : 原田健久による成果<sup>3)</sup>

III : 1974年 G. D. P. 作業による G-8 直接測定

\* : 1969年 G-8 直接測定



第1図 G.D.P. 高精度トラバース測量による九州地方の地殻変動

Fig. 1 G. D. P. traverse survey of high precision in northern part of Kyusyu, Japan.